

2021 年 1 月 30 日

ほしぞらサロン 2020 年 12 月議事録

文責: 阪本 麻裕

日 時: 2020 年 12 月 26 日(土) 19:00~22:00

場 所: ユリックス会議室 3

参加者: 麻生, 荒巻*, 高木, 永井, 広滝, 宮田

(50 音順、敬称略)

職 員: 小野田, 平野, 角田, 石橋, 阪本

計 11 名

* リモート(Zoom)参加者

1. 12 月 20 日の木星・土星ウォッチングの反省

予定よりも 15 分早く天体を導入できたため、18:00 開始のところ、17:45 から実施した。来場者数は約 120 人で、予定どおり 19:00 まで開催した。

1-1. レンズヒーターの装着

冬季はレンズが曇りやすいため、今回は望遠鏡にレンズヒーターをつけて実施した。レンズヒーターは元々対空双眼鏡用であるため、望遠鏡同士の距離が近くなり、自然と人が密になる状況となってしまった。今後はソーシャルディスタンスを保てるような工夫が必要と考えられる。

宮田: これからレンズヒーターをつける機会はあるのか?

角田: 冬季の観望会の有無次第。過去には、彗星の観察で午前 5:00 頃観望会を行ったことはあるが、今後のことを考えると、あまりヒーターを使う機会がなさそうだ。

-->今はレンズヒーターを急いで買う必要はない。

1-2. アイピースについて

倍率が高く、木星と土星がそれぞれ視野の端と端に見えていたため、見つけられなかった方が多かった。また、ガリレオ衛星を土星と勘違いしていた方や土星の輪が見えなかった方もいた。

高木: 9mm のアイピースは倍率が高く(約 90 倍)、見えづらかった。18mm くらいのもの(約 45 倍)であれば木星と土星が見やすかったのではないかな。

宮田: 今回は木星と土星の 2 天体だったが、1 つの天体だと倍率は 100 倍くらいで良い。また、前回の観望会同様、紙コップをつけて実施したが、新型コロナウイルスについて、

宮田: 目から感染することはあるのか。それよりも我々がお客さんに話す方のリスクが高い。

角田: スーパーコンピュータ等で証明してくれれば紙コップはなくて良いと思う。他館ではしていないところが多い。

-->今回は 9mm のアイピースを用いて同一視野で 2 天体を見るのは難しかったと思われる。

しばらくは感染予防対策を講じる必要があるため、紙コップを用いて観望会を行いたい。

2. 来年度のほしぞらウォッチングについて

前回のサロンで、ウォッチング日程について話し合いを行った。また来年度のスタンプカードは今年度同様、感染拡大防止のため実施しないこととなった。

また候補日として挙げた日程は、以下のとおりである。

=====候補日=====

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ① 6月19日(土) | 太陽の観察 |
| ② 8月 7日(土)・11日(水)・21日(土)のいずれか | 夏の星空 |
| ③ 9月18日(土)・20日(月・祝)のどちらか | 中秋の名月と惑星 |
| ④ 10月30日(土) | 木星・土星 |

=====

角田：初回が半年後かつ星を見ないというのが気になる。

4月17日(土)に月と火星が大接近する天文イベントがある。

小野田：しかしそのときの火星の明るさは今よりもかなり暗くなる。

宮田：次の日は月と火星の距離が遠くなる。17日はかなり近づくが、同一視野には入らない。

角田：春先は黄砂というイメージだが、4・5月に1回星を見る機会があっても良いのでは。

→4月17日(土)に月や火星をメインとする春の星空ウォッチングの開催を追加

②の候補日について、以下検討を行った。

本来は11日(水)が「山の日」であるが、祝日法の改正により2021年に限り8日(日)になった。9月にお月見ウォッチングがあるため、満月1日前の21日(土)は不適。また、7日(土)は友の会がある。

角田：7日(土)はお昼のイベント(友の会)なので、夜に観望会を行うことは可能ではある。

しかし我々の体力次第になる。

→8月7日(土)に決定。友の会の後に観望会を行う。

③の候補日について、以下検討を行った。

中秋の名月は21日(火)でその日は満月でもある。

→前日の20日(月・祝)だと月の出が遅いことから、18日(土)に決定。

これらのことから、2021年度のウォッチング日程は以下のとおりとなった。

=====予定日=====

- | | |
|-----------|----------|
| 4月17日(土) | 月と春の星空 |
| 6月19日(土) | 太陽の観察 |
| 8月 7日(土) | 夏の星空 |
| 9月18日(土) | 中秋の名月と惑星 |
| 10月30日(土) | 木星・土星 |

=====

3. 小学生向け講座(ほしぞら友の会)について

今年度は新型コロナウイルスの影響で中止になったが、来年度は通年で12回を予定している。
以下、予定日(案)である。

===== 予定(案) =====

4月10日(土)	オリエンテーション・春の星座
5月8日(土)	プラネタリウムのしくみ
6月12日(土)	望遠鏡工作
7月17日(土)	月の観察・夏の星座【予備日:22日(木・祝)】
8月7日(土)	ペットボトルロケット工作&打ち上げ
9月11日(土)	太陽系と宇宙の広がり・秋の星座
10月9日(土)	火薬ロケット工作
11月13日(土)	火薬ロケット打ち上げ
12月11日(土)	流れ星について
1月8日(土)	日時計工作・太陽の観察
2月12日(土)	地球について・冬の星座
3月12日(土)	星の一生について

=====

宮田: 参加人数はどうするのか。

角田: 例年どおり20人の予定。それ以上は考えていない。

宮田: 工作の回は参加する子どもの学齢や能力によると思う。6年生だったら大丈夫だと思われる。

→参加人数は例年どおり20人とする。

また、今年度の友の会が中止になったこともあり、11月と12月に望遠鏡工作教室を実施した。その際に参加した子が来年度の友の会に参加すると、望遠鏡工作の部分が重複してしまうため、他の案を募集中。

4. ドームイベントについて

今年度は「QUEEN～HEAVEN～」の上映を計15回行った。来年度は4月からドーム作品映像の「HAYABUSA2～REBORN～」を計7回の上映を予定している。

角田: QUEENの上映に関しては宗像市から来年も行っていきたいとの要望があった。人を呼ぶイベントとして需要があったため、資金は出してくれると伝えられた。

HAYABUSA2に関してはこれから結果が出てくるので話題にはなる。夏休み前まで計7回行い、小学生くらいの年齢層に見てもらいたいと考えている。

次回のほしぞらサロンは、2021年1月30日(土)です。